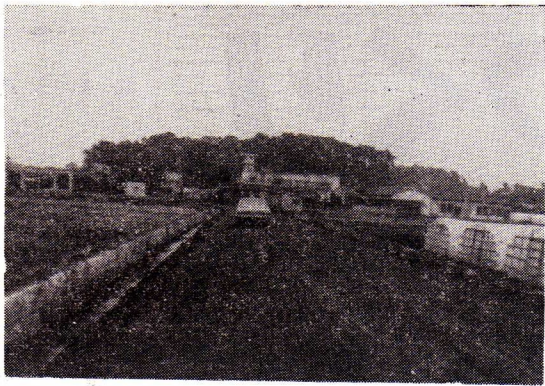


町道14号線下宿―高須が舗装に

補助事業 総工費二百万円

町道十四号線の一部が舗装され、舗装工事という補助事業で、事業費二〇〇万のうち、二分の一にあたる二〇〇万円を国庫から、残り半分の一〇〇万円を町が負担し、長五六〇mが舗装されました。工事は、特殊改良工事第四種（一日から、四十四年一月二六日までの三十日間実施されました。電報電話局の新設工事があり、資材搬入があたり、一月八日から一月十七日までの十日間）中止となり十日間工事が延期され、二月に竣工のはこびとなったものです。



この道路は、玉造地区高須地内に通ずる重要路線で、この道路の沿線には、茨城県霞ヶ浦北浦内水面試験場が、高須地内（通称新川岸）に、また、近く玉造町の電話が自動化することとなり、玉造町母子健康センター

一日から幅をひろげるための改良工事が進められ、役場横から、茨城県水産センターまで、一三六〇メートルが、幅五メートルにひろげられ、道路沿いの堀無川の水路が改良されました。この工事は、以前に改良された部分の舗装工事として実施されたもので、中員、四、一メートルから七、六メートルで三〇〇メートルに二ヶ所の割で待ひ所が設けられています。また、町道の舗装としては、町道一八〇号線（石岡―潮来線から泉地内にいたる道）について二番目の舗装工事となるものです。この工事竣工のため、高須への通行は容易になり、かつての悪路から解放されたわけです。

母子保健推進員さまる

―母子保健の連絡と指導を―

母子保健推進員がこのほどさまりました。これは、丈夫な赤ちゃんを生むためには、母親が健康でなければいけません。また、赤ちゃんが病気になるからには、注意して、丈夫に成長しなければなりません。これらのことを、母親だけの責任にしておかず、母子健康推進員を決めて、公衆衛生活動に協力していただくこととするものです。赤ちゃんの健康について、家族

農業学園基礎研修を実施

後継者に資質と意欲を

町では、二月二四日から三月十二日までの十六日間、青年研修所で、今春中学校を卒業し、農家の後継者として、今後農業に従事しようとする青少年を対象に、農業に関する知識、実務指導をするこの研修を実施しました。この、農業学園基礎研修は、農業後継者が少なくないという現状から、昭和四三年三月に、中学校を卒業し、農業の後継者として、今後農業に従事しようとする若者に対して、実践活動を通して農業についての関心を大きくさせようとするものです。

今後、農業にとりくもうとする青少年が実践活動を通して、農業および、生活についての基礎知識や技術を身につけ、農業者としての資質と意欲を身につけることを目的とした指導が行なわれます。教育内容は、農業についての興味や関心をもち、意欲を起させるために、身近な問題をとりあげ、基礎的知識を結びつけさせるよう編成されています。教科内容は、農業生活関係と、一般教育関係とに分け、農業関係は作物、園芸畜産、農業機械生活等を習得します。

所得税

本年も所得の確定申告と納税をする時期が来

確定申告と納税

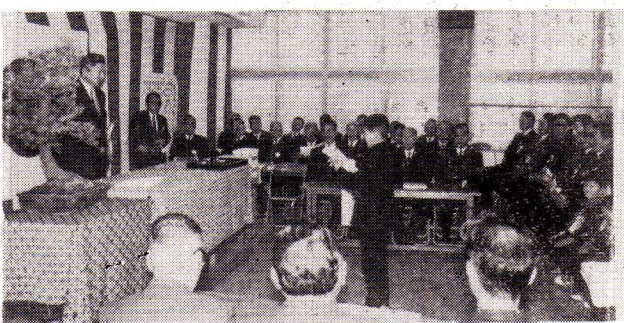
この計算した所得金額にもとづいて、二月一六日から三月一五日まで確定申告を住所地の所轄税務署に提出することになっております。確定申告をしなければならぬ人は、昭和四三年中の各種の所得税を算出する時期が来

賀横須賀 荒井みち子（舟津）五十嵐路子（小座山）宮河トミ、溝口つや（宿）細谷よね（新宿）郡司よ（鳥名木）佐山さと子（新宿）野原きよ（竹の橋）飲田裕子（下池）根崎シン（玉造横須賀）新堀つる（諸井）金井さく（柄貝）沼田ヨシ（高須）弓削はる（川向）長島きよ（加茂）松沢満喜（泉）谷田川トミ（内宿）宮本

現原小が完成して

今度はじっくり勉強を

校も竣工式を終え、新校風へのスタートをきりました。近代化学の進歩の中に、長い歴史をもち幾千人の人に愛され親しまれた旧校舎で勉強し、次の時代の土台をきづく基礎づくりをして来た児童も、今は新校舎が完成し飛行機の音もきこえない、すべてを完備した教室で勉強が出来るようになった。今までは、飛行機の音で、すべてが消されてしまし、心も落ち着かず、勉強も思うように出来ない日が続いて、そんな時、早く静かな教室でじっくり勉強したいと思う生徒が多かったろうと思ひます。ジェット機の騒音のたびに、勉強出来ない時間を毎日心配して来た児童の家庭や町当局、教



竣工式で児童代表の石田泰雄君が「今度はおはねをいいたいたみなさんの恩がえしに立派な人間になるよう勉強します」とお礼のことばを述べた。

くらしのそと

「弥生」と書いて「やよい」と読ませます。旧暦三月の異称です。草木がいやが上にも生えることを「いやおい」（弥生）といったことばからきた用語です。三月というのとはだいぶ語感の違いがあらましよう。

△さて、三月といえば、官庁や学校の年度末、三月決算をするところが大分です。いそがしさはふだんの倍も感ぜられることでしょう。とくに、こどもさんのいる一般の家庭では、受験、進学、卒業、就職など、いちだんと気ぜわしいものです。気候も変わり目に当たり急に暖かくなったり、寒さがぶり返したりして、とくく身体に不調を起しやすき季節といえましよう。

現原小学校校歌が制定

二月二十六日、現原小学校校歌が制定されました。校歌は、学校をめぐる自然美を歌いあげ、現原に育つ児童、生活し、学び、生い立つていくよい子たちの決意と実行と希望とが歌いげられていきます。

現原小学校校歌

作詩 今泉 嘉広
作曲 小野 正造

山むらさきの 筑波嶺仰ぎ
霞ヶ浦の 水明のぞみ
ああ われら ここに生いたち
仲よく はげみ 伸びようよ

二

春にさきがけ 白梅がかり
朝霧けふる 麦畑青く
むさしが原の 朝明けうれし
ああ われら ここに学んで
たゆまず つとめ はげもうよ

三

現原たんば 穂波がゆれて
とんぼ飛びかい みのも豊か
あそび歌に しあわせまく
ああ われら ここに鍛えて
正しく強く 進もうよ

青年の部 四連勝を飾る

行方郡一周駅伝マラソン大会

去る二月十六日、ふぶきの中を行方郡一周駅伝マラソン大会が実施され、玉造青年団が昭和四一年から今回の大会まで、青年の部連続四回の王座を獲得しました。

二月十六日に、第十三回行方郡一周駅伝マラソン大会が実施され、青年の部で、玉造町が四年連続優勝の偉業を達成しました。

このマラソン大会は、例年、行方郡青年団連絡協議会と郡内五町村の主催によって開催されるもので、厳冬の行方路一周五八・二kmに若人の勇姿を示し、体力を発揮して、強固な団結、連帯を以て友



競技は、北浦村役場をスタート北浦一玉造一麻生一牛堀一潮米一北浦の行方郡一周五八・二キロメートルを、十三人のランナーによって完走されました。

この大会で、玉造青年団は、青年の部四年連続優勝という栄を成し得ました。

マラソン大会の結果は次のとおりです。

○青年の部

一位 玉造町 4時間03分22秒
二位 麻生町 4時間08分20秒
三位 北浦村 4時間14分05秒

ふぶきの中を力走

井上中継点にて

磐梯青年の家に学んで

研修生の手記

一月二日から四日までの四日間、わたしたち青年男女四名は、福島県にある国立磐梯青年の家で研修会を行なってきました。

第一日目、青年の家にあつた息動かなくなり、凍った坂道を歩いたために、予定より遅れて入所しました。

第二日目は、前からの日程として組んでいたスキーの実習で始まり、参加したほとんどの



青年は、スキーを実際に見るのは始めてでしたが、講師、コーチの努力と仲間たちの熱意によって、午後にはどうやらすべれるようになるほどでした。

また、その日の夜は、わたしたちが、この研修会に初めて、多くの友を得、多くの知識を得ることができました。

また、町をはなれて、はじめての研修の収穫の一つとして、今度帰ってからは四日間に取得した成果を生かし、今後の活躍に自信を得たいと思っています。

青年団長 飯島 重 稔

ち青年団よりも一日早く研修に参っていた旭、大洋、鈴田の三町村合同研修生との交歓会が企画され、同行の町長さんらをまじえて、ゲーム等で心の交歓をはかりました。

第三日目、町長さんから「玉造の未来」というテーマで講演があり、鹿島建設に伴って、変ぼうの予期出来る農業、商業についてこれから取るべき道など話が進められ、そのあと、青年団活動上の問題点、留意点などを基礎に質問をして参考にし、また、三つの分科会に別れて、それぞれ町政や青年の姿勢等について話しあいました。どの分科会でも取りあげられたことは「人あつめ」ということに対する苦勞でした。

午後は、青年の家の先生によって、フットワーク・ダンス、ゲームの指導を受けました。

少しの間を見つけて、しかも手軽にできる仲間づくり、交歓を深めるゲームなどの知識を得ることが出来ました。

研修最後の日は、記念植樹のあと吹雪の中を一路帰途につきました。

水郷、玉造の抒情をうたい、俳壇で活動しておられる川島草人さんから、このたびの句集出版にあたって寄稿いただきました。

俳句雑誌「とも」も「な」を刊行してから二十余年の歳月が過ぎました。昨年は創刊以来二百号に達する年となり、この辺で自分の句作に対して反省しなければならぬと痛感し、これまでの一万余句を整理して一冊の句集に収録してみました。ここに草人句集の初出版となつたわけです。

草人句集 初出版にあたって 川島吉蔵

言うまでもなく「とも」は、風光明媚、豊かな詩情に富むたまつくりの生まれ育つて二十十年の歴史と伝統をつくつてきました。

水郷俳壇の進展のために尽してきましたが、その間、玉造を中心として多くの心と親しまれ育つてきました。

「とも」は、「春告げ魚」の異名をもつてしなが出てきます。戦前はどくどく親しみふかい、しかも栄養価の高い魚です。つけ焼にしたり油でいため、しょう油と砂糖でかば焼きふうにしても、おいしいものです。

▽くだものでは、みかんはそろそろ姿を消しますが、かわりに夏みかん、ネーブル、はつきりなどが

▽ひなまつりには、あま酒を作つてあげたいかがでしよう。本式をあま酒を作るには手間がかかりますが、酒かすを使ったあま酒なら簡単です。酒かすを水でとき甘味を加えて煮立てれば出来あがりです。酒かすの中には、酵母菌がたくさん含まれており、たん白質、ビタミンB₁、B₂もあつて、栄養価も高い飲み物です。

▽へやのよそおいを、あれこれくふうするのは、春を迎えるときのたのしみです。

新入学のお子さんがあれば、居間や廊下の片すみを片付けて「デスク・コーナー」を作つてあげてみてはどうでしょうか。カーテンで仕切つてもよいし、ダンス類で囲つて、その裏側を、額や壁掛けで飾つてみるのもおもしろいでしょう。

さて、そうすると冬の重いカーテンのよれが気になるものですが、時期をみて、クリーニング屋に出しておきましょう。

自宅でも、洗えないことはありますが、その場合、お風呂のおとし湯を利用して、押し洗い、ふみ洗いの要領でやれば、きれいになります。

さて、そろそろハエが目につきはじめます。ハエのさなは、お便所の近くやゴミためなどの、近頃の土の深さ十センチか、二十センチぐらいのところで越冬しますから、今のうちに土を掘りおこして殺虫剤を十分にまいておいてください。よく、穴を掘つてゴミを棄てますが、それは、ハエの巣を作つてやっているとよくないのです。

新入生をむつ みなさんへ

昭和四三年度幼稚園が新設され、ほとんどのお子さんが幼稚園の教育を受け、集団生活に慣れて来ていると思います。

四月からは、小学校一年生として、学校はより楽しいところであるというイメージをさらに伸ばしてあげたいものです。

つきに、保護者の心構えとして申し述べましょう。

一、入学前にやっておきたいこと

○病気の治療

○自分の名前の読み、書きが、出来るように教えること

○自分の持ちものに名前をつけること

○幼児語をなおしておく(お母さんが早く口で言ったり、幼児語を使うと、それに慣れてしまふので注意してください)

○登校する前に、大便の用を済ませておきましょう。

二、学用品、その他の用具の購入について。

○学用品は学校の先生と相談して規格にあったものを買います。

○自転車の通学を許可してもらふには、身体にあつたものを買ひましょう。

三、交通事故から子どもを守りましょう。

○手をあげさえすれば、車はとまると思ふのはまちがいです。道路を横断する時は、まず、右を見て、右から車が来なかつたら次に左を見て確かめ、それからもう一度右を見て、だいたいぶとと思つたら渡るように指導してください。

四、入学してから。

○「手出し、口出し、おしつけ無用」

毎朝、手出しをせずに登校の準備をせよ、笑顔で送り出してください。

帰宅したあつた、学校のことを根ほり葉ほり口出しせず、勉強勉強とおしつけ、はやめましよう。

おおかあさんの過大な期待によるおせり、お子さんに



交通災害共済 まだ低い加入率

入しましょう。

昭和四四年二月末日現在の玉造町の加入および災害状況は次のとおりです。

○加入申込者 二八七三人

○災害該当者 一

一週間未満……一人

一ヶ月以上……一人

見舞金の額		
災害区分	見舞金額	
1 死亡した場合	500,000円	
2 全治6ヶ月以上の傷害を受けた場合	100,000円	
3 3ヶ月	50,000円	
4 1ヶ月	20,000円	
5 一週間	5,000円	
6 一週間未満	2,000円	
身障見舞金	100,000円	

死亡……一人

この制度の会員になれる人は、玉造町に住民登録をしている人であればだれでも加入出来ます。

制度のあらましは次のとおりです。

○会費 一年間で三六〇円 中学生以下は三〇〇円

○見舞金 別表参照

○会員期間 会費を納めた翌日から一年間有効。一年を経過したら再度申し込みが必要。

○申込み 会費を持参して、役場、町民室までおいで下さい。

▽注意しましょう。

▽にわとりが、一年中でいちばん卵を多く生むのは、三月だといわれます。したがって店先に豊富に出回り、値段も安くなります。

卵は栄養価の高い食品で、良質のたん白質、ビタミンA、B、ミネラルなどを含んでいるので、育ちざかりのお子さんには欠かせないものでしょう。

▽魚では、「春告げ魚」の異名をもつてしなが出てきます。戦前はどくどく親しみふかい、しかも栄養価の高い魚です。つけ焼にしたり油でいため、しょう油と砂糖でかば焼きふうにしても、おいしいものです。

▽くだものでは、みかんはそろそろ姿を消しますが、かわりに夏みかん、ネーブル、はつきりなどが

▽ひなまつりには、あま酒を作つてあげたいかがでしよう。本式をあま酒を作るには手間がかかりますが、酒かすを使ったあま酒なら簡単です。酒かすを水でとき甘味を加えて煮立てれば出来あがりです。酒かすの中には、酵母菌がたくさん含まれており、たん白質、ビタミンB₁、B₂もあつて、栄養価も高い飲み物です。

▽へやのよそおいを、あれこれくふうするのは、春を迎えるときのたのしみです。

新入学のお子さんがあれば、居間や廊下の片すみを片付けて「デスク・コーナー」を作つてあげてみてはどうでしょうか。カーテンで仕切つてもよいし、ダンス類で囲つて、その裏側を、額や壁掛けで飾つてみるのもおもしろいでしょう。

さて、そうすると冬の重いカーテンのよれが気になるものですが、時期をみて、クリーニング屋に出しておきましょう。

自宅でも、洗えないことはありますが、その場合、お風呂のおとし湯を利用して、押し洗い、ふみ洗いの要領でやれば、きれいになります。

さて、そろそろハエが目につきはじめます。ハエのさなは、お便所の近くやゴミためなどの、近頃の土の深さ十センチか、二十センチぐらいのところで越冬しますから、今のうちに土を掘りおこして殺虫剤を十分にまいておいてください。よく、穴を掘つてゴミを棄てますが、それは、ハエの巣を作つてやっているとよくないのです。

